

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第2560地区 2016-2017年度

ガバナー月信
2017.08

Vol. **13**
最終号

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	青少年交換委員会 報告	20
地区幹事・財務委員 挨拶	2	R財団学友会総会 報告	21
ガバナー補佐 挨拶	3	津南 RC 創立40周年記念	22
地区委員長 挨拶	7	新入会員紹介	23
山の会 報告	17	御礼とご報告	24
国際大会 報告	18	寄付実績一覧	25
RA地区協議会 報告	19	会員数および出席報告	26

2016-17年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

2016~17 年度を振り返って

国際ロータリー第 2560 地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春 (長岡西 RC)



2016~17 年度を振り返ってみますと、エレクト年度を含めた 2 年間、準備不足のまま走り続けて、よく脱線しなかったと感心しています。ガバナーノミニの期間が 3 ヶ月間で、考えて準備する間もなく、行事に追われて気が付いたらガバナー任期が終了していました。

また、年末 12 月 22 日の糸魚川大火では大勢の会員が被災されました。その際、皆様から心温まるご支援を頂きました。深甚なる感謝を申し上げます。

地区の運営につきましては、ガバナー補佐と地区役員、また、諮問委員はじめ会員の皆様から頂きましたご協力に心からお礼申し上げます。

公式訪問では会員増強を第一にお願いしましたが、目標に到達できず、減員という結果で新保年度にご迷惑を掛けることになりました。引続き、新保年度での目標達成に向け、地区一丸となった会員増強への取組みにご協力をお願いします。

次は、ロータリー財団年次基金への寄付がゼロのクラブをなくすことでしたが、これは何とか目標を達成しました。

地区運営改善検討委員会から区事務所の所在都市を固定するように、地区大会の 2~3 週間前に要請されました。地区大会開催前に会長会を開催し、2016~17 年度会長会としての決議を求めました。国際的に認められたロバート議事法を勉強し、どのような決め方が提案されても時間内に有効な決議できるように、最悪を予測して議事を進めました。時間の掛かる方法が提案されましたが何とか乗り切りました。その後、地区事務所の固定化等を推進するための作業部会を設置して、第 2560 地区の事務の種類とその量を調べていただきました。その結果等を総合的に検討し、地区事務所を新潟市に決め、2017 年 6 月 25 日開催の諮問委員会に報告いたしました。今後は新保ガバナー事務所と川瀬康裕ガバナー事務所が協議しながら地区事務所の所掌分担とそれに伴う予算が決定されます。不便は IT を駆使して対応していただきたいと考えます。新保清久年度に、手続き・規則委員会、地区戦略委員会、地区運営委員会を正式に立ち上げて頂きましたが、これが田中年度の仕事であったと思います。

ロータリーの基本を学ぶため、全会員に名著「ロータリー入門」改訂版を贈呈します。自分なりのロータリー観を持ち、年度が移ろうとも「Rotary Serving Humanity」の実践を期待します。

2016～2017年度を振り返って

2016 - 17 年度 地区幹事
小林 敏夫 (長岡西 RC)



田中先生がガバナーを引き受ける当初から私の役目は此れから二年間田中先生が無事体調を崩さずガバナーを務めあげる様、補佐することが私の役目と心に決めました。ですから公式訪問は周年事業を含め約50倶楽部を同行致しました。9月末から10月にかけて田中ガバナー地元である北海道の地区大会に一人で2地区に出席された後、だいぶ体調を崩されたようですが何とか持ちこたえ12月22日の長岡西クラブの公式訪問を終えた事が思い出されます。

公式訪問で色々の街を廻って感じましたことはクラブの元気が有るところは街に元気が有るとゆう事です。

皆さんも記憶に新しい昨年の12月22日私たち最終例会を終えたその時糸魚川の大火災、糸魚川RCと糸魚川中央RC訪問時の顔が思い出されました。

早速、田中ガバナーと相田財務委員と相談して見舞金を持って行きました、車中から焼けた街を見ましたが、土台と灰のみでした。

各クラブ義援金をお願い致しましたら皆さんからご協力頂き大変多くの義援金が集まり、特に隣の長野県のガバナーから大金を頂きました。

地区の仕事を約2年間勤めさせて頂きましたが、家族、会社、ガバナー事務所のスタッフ、そして2560地区のロータリアンの皆さんのお陰で次の新保年度に繋げる事が出来ました、心から御礼申し上げます。

田中ガバナー年度を終えるに当たり

2016 - 17 年度 地区財務委員
相田 東洋雄 (長岡西 RC)



2016-2017年度、田中ガバナー年度も無事に終わることが出来ました。当初、田中年度は財務担当副幹事(渡辺 雅志・長岡西 RC)を新たに置き、二人体制で予算の執行に万全を期す事をお約束いたしました。

各地区ガバナー補佐、実行委員会、各クラブ会長・幹事と全会員の皆様のご協力の元、PETSと地区研修協議会でご承認頂きました、一般会計・特別会計を計画通りに大過なく無事に実行できました。そして、新保ガバナー年度に引き継ぐことが出来ました。皆様方のご協力で御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、糸魚川の大火災に際しましては、各クラブ会員の皆様からロータリーの厚い友情の証しである多くの義捐金も寄せられました。これらは糸魚川大火災の復旧復興の足しになりますように、皆様のご厚情や厚き思いと共にお届けいたしました。重ね重ね御礼申し上げます。

最後に、各地区ガバナー補佐、各クラブ会長・幹事と全会員の皆様の今後の益々のご健勝をお祈り申し上げますと共に企業やお仕事のご繁栄と会員の皆様のロータリー活動の更なるご発展を切にご祈念申し上げます。一年間、ありがとうございました。

ガバナー補佐

ガバナー補佐 1年間を振り返って

2016 - 17 年度

第 1 分区 ガバナー補佐

吉田 忠廣（新発田中央 RC）



田中ガバナー、地区役員、9クラブ会長、幹事、会員の方々と知り合えて、とても感謝しています、ガバナー補佐にならないと、このような親睦の機会がなかったと思います。

私の所属するクラブより、スタッフ4人お願いして、文章の作成、ガバナー事務所様への報告連絡、9クラブの会長、幹事様への文章の依頼、日程調整、等々、又クラブ訪問に同行して頂いて、本当に助かりました。自分の仕事もあり、会社、仕事関係の皆様には多大なご迷惑をお掛け致しました。しかし沢山のロータリアンの方達と友情を重ねることが出来て、私の人生に於いて大切な宝物になりました、最後に田中ガバナー他、関わっていただきました皆様には心より感謝申し上げます。[感謝!!]

ガバナー補佐 1年間を振り返って

2016 - 17 年度

第 2 分区 ガバナー補佐

馬場 伸行（新潟西 RC）



思い起こしますと、私のガバナー補佐の就任にはぎりぎりのタイムスケジュールで決定しばたばとそれから進んだ感がありました。田中ガバナーと各クラブ訪問し指導すべき立場の私が逆に大変勉強になりました。

1番の思い出は佐渡2クラブへのガバナー、小林幹事とのクラブ訪問です。2クラブ共に歓迎を受け感謝しています。お詫びしなければならないのは第二分区の田中ガバナーの数値目標に対して満足のゆくことが出来なかったことです。

嬉しかったことは田中ガバナー、小林幹事さんと我々ガバナー補佐とが親しく懇親を深め地区役員が絆を深めたことではないでしょうか。

ガバナー補佐の最後の仕事である次年度ガバナー補佐の選出と次年度への引き継ぎがスムーズに行えたことに安堵しています。皆様に感謝いたしましてお礼といたします。

この一年を振り返って

2016 - 17 年度
第3分区 ガバナー補佐
佐藤 渉 (五泉 RC)



ガバナー補佐の役割とは何なのか？何をしたらよいのか？と少々不安をいだきながら、この任を引き受けた事が思い出されます。しかしながら、引き受けた以上最善を尽くそうと心に決め、仕事と子育てとロータリーで奮闘した1年でした。

特に第三分区の重要課題は、会員増強と退会防止でした。どのクラブも会員増強に対し、積極的に取り組んでいましたが、数字に出て来ないのが現状でありました。ただこの課題に対し私自身が悩んでいると、あるクラブを訪問した時に先輩会員の方から、「ロータリークラブは楽しくなければロータリーではない。増強、増強と言う前に会員の皆さんが毎週出席したい、みんなに会いたい、と思う気持ちにさせるクラブ創りをどうするかの方が先ではないか」という助言を頂き、肩の力がだいぶ軽くなったことが一番印象に残ってます。

ガバナー補佐という貴重な経験をさせて頂き、また素晴らしいロータリアンの皆さんに出会えたことに心から感謝致します。

地区大会→参加クラブ紹介を！周年事業→拍手で歓迎を！

2016 - 17 年度
第4分区 ガバナー補佐
森山 一理 (加茂 RC)



第4分区は11クラブあり、各クラブの会長幹事、会員の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

2016年6月に第4分区内の会長幹事の皆さんに加茂市にお集まりいただきまして会長幹事会を2回に分けて開催しました。後半には第4分区内ガバナー補佐OB会「AG会」も加茂市で開催させていただきました。

IMでは、加茂市の新潟経営大学にて「ロータリーと観光」のテーマで開催し、手づくりのIMで好評を博しました。

ガバナー公式訪問では田中政春ガバナーは、包容力と寛容さで会員に接して下さいました。地区大会では、参加クラブ紹介は実に素晴らしいセレモニーでした。近年地区大会で参加クラブ紹介を行わない年度がありますが、これはやるべきです。私は入会したときに、この参加クラブ紹介にどれほど勇気づけられたことでしょうか。ロータリアンとしての自覚と誇りがみなぎる瞬間なのです。

三条クラブの創立60周年が4月に開催されました。会場のVIPジオワールドの玄関に入った途端溢れんばかりの拍手で、あまりの素晴らしさに、汗だくでウェルカムロードを通りました。これはロータリアンならではの心からの歓迎の姿だと感激した次第です。

本年、三条クラブから川瀬ガバナーノミニーが誕生いたしました。実に喜ばしいことです。

一年間は刺激的で、貴重な体験をさせていただきました。

ありがとうございました。



国際奉仕のGGF

2016 - 17 年度

第5分区 ガバナー補佐

伊丹 敏彦 (長岡東 RC)



ガバナー補佐の任期満了を目前にした6月21日、吉井会長エレクト (長岡東) 等とモンゴル、フレイククラブを訪問しました。GGFの約束を履行できなかった事へのお詫びの為でありました。第5分区では過去に国際奉仕活動の実績がなかったので、財団100周年の記念事業として取組んでみたかったのであります。

フレイククラブでは次年度すでに3つのGGFの計画が決定しているとの事で、ウランバートルナルラグクラブを紹介してくれました。ブルガンAG、ゾルザヤ会長エレクトと中味の濃い話合をし、23日には朝食例会を開いてクラブ方針決定にまで持って行ってくれました。そして、25日には連絡担当者を決めて今後の運営に迄、打合せする事が出来ました。フレイククラブは16年目26名中17名が女性会員のクラブでした。ナルラグクラブは7年目17名中12名が女性メンバーでした。

規模も小さく歴史も浅いクラブでありましたが、純粋で奉仕の理想にあふれており、ひたむきな熱心に感動させられました。

ロータリーのあるべき姿に、多くの反省を感じさせられたモンゴル訪問でありました。



1年を振り返って

2016 - 17 年度

第6分区 ガバナー補佐

吉田 武彦 (小千谷 RC)



田中ガバナーが掲げた会員増強・ロータリー財団寄付・米山奨学会寄付等の数値目標達成に向けて、分区内6クラブでは、地区とクラブが互いに良い影響を与えるようなクラブ事業計画（現況報告書）を其々策定し、会員の皆様のご尽力により、目標を達成することができました。深く感謝いたします。

また、ガバナー公式訪問および新会員入会式や記念例会等のクラブ訪問・IM（Intercity Meeting）・IM親善ゴルフ大会・第6分区会長幹事会議・地区の諸行事等。お蔭さまで、そのすべてが良い思い出となりました。そして今、地区事務所の固定化・ガバナーの輪番制など、地区の新しい方針を踏まえ、分区内の結束と日頃の交流の重要性を改めて実感しております。

1年間、多くの方々より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

田中ガバナー年度に感謝

2016 - 17 年度

第7分区 ガバナー補佐

佐藤 明臣 (新井 RC)



田中政春ガバナーお疲れさまでした。ガバナースタッフ、地区役員、地区委員そしてガバナー補佐、第7分区の各ロータリークラブの皆様にお世話になり、誠に有難う御座いました。本年度のRIのテーマ「ROTARY SERVING HUMANITY」地区目標「基本を学び地域と共に」という方針の下、2015年12月5日の第1回地区運営会議に始まり、各委員会、防災会議、地区大会と15回の会議に出席させていただき、あっという間の一年だったと思っております。ガバナー補佐の役割も、なかなか理解することなく、多くの皆様から補佐された年でした。また、昨年末12月22日に第7分区内糸魚川にて発生しました糸魚川駅北大火にて、地区内、地区外、長岡高専インターアクトクラブほか多くの方々から義援金を賜りました。さらに2017年2月2日には、遠方の第2530地区福島南ロータリークラブの大橋パストガバナーと奥様より、糸魚川・糸魚川中央ロータリークラブにお見舞いを賜りました。厚く御礼申し上げます。最後に、第7分区藤巻ガバナー補佐、くれぐれも健康に留意し、元気に楽しく活動なさいますよう、お願い申し上げます、田中ガバナー年度に感謝をさせていただきます。有難う御座いました。

地区委員会

2016-17 年度を振り返って

2016 - 17 年度 クラブ奉仕委員長
浦上 義昭（長岡西 RC）



田中政春ガバナーの方針の元に、会員増強を図る為、各クラブ会員増強委員長・ガバナー補佐に参集いただき、2回の「会員増強会議」と、1~3年生新人ロータリアンを対象の「新人研修セミナー」を開催しました。



私の所属の長岡西 RC は8名の新入会員を向え、各クラブもおのこの努力をして戴いた結果、5月末現在で42名の純増と成っています。

又アトランタ国際会議も参加目標20名に倍する40名の登録を数え、社会状況を考えるとまあ合格と言える結果と成りました。

各クラブの更なる御発展を心よりお祈り申し上げます。

2016-17 年度を振り返って

2016 - 17 年度 職業奉仕委員長
佐藤 一男（栃尾 RC）



4月23日（土）の地区研修・協議会から始まり、10月29日（土）に行われました職業奉仕委員会セミナーにご出席いただきました各クラブの委員長の皆様に感謝いたします。

又、セミナーにご講演いただきました柏崎中央RCの鈴木公子様には熱のこもった大変勉強になるお話をいただきまして、ロータリー活動の根幹は職業奉仕からと改めて実感いたしました。

卓話に呼んでいただきました6クラブの会長様には温かくお迎えいただき良い経験になった事、心より感謝申し上げます。

又、依頼があっても行くことが出来ませんでしたクラブの委員長様には深くお詫びいたします。

第2560地区の全クラブの職業奉仕を通じて、クラブ運営の発展を心よりお祈りいたしまして報告させていただきます。1年間本当にありがとうございました。 感謝

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 社会奉仕委員長
岸 伸彦 (長岡東 RC)



田中年度、社会奉仕委員長という機会をいただき誠にありがとうございました。本年度田中ガバナーの意向に則り、活動内容と致しましては、

- 1、地区内具体的社会奉仕活動の実態調査
- 2、地区研修協議会に於いてのセッション及び具体的活動事例の公開
- 3、「平成 28 年度深めよう絆、にいがた県民会議（青少年育成の課題と方針について）」への出席
- 4、社会奉仕委員長セミナー開催、財団資金の利用促進及び事例
社会奉仕活動による公共イメージ向上や事例などの訴求及び推進

などを中心に情報発信して参りました。

果たして成果があったかどうか、確信はもてませんが、この1年で、地域に密着した奉仕活動には、「地域住民が住みやすく楽しめること」、「地域の文化遺産にスポットをあて誇りとなる地域となること」、「地域の人材を生かすこと」、「若い人材を育て柱とすること」など、その活動域は広く、同時その様々な活動は、ロータリーの本質や存在意義に大きな意味があることを再認識致しました。またその奉仕活動の意欲やエネルギーは、例会はじめ様々な会合において会員メンバーが、お互いに親睦を深め学び合い切磋琢磨していくことで生まれ無限であり、例え直ぐには目に見える形にならずとも、いつかその「兆し」が奉仕の実践に結びつくものであることを確信いたしました。

今、田中ガバナーがお話しされていた、「Enter to learn and go to serve」（入りて学び、出でて奉仕せよ）という言葉が思い出されます。

今後は、この貴重な経験を、ロータリー活動に生かせるよう精進して参ります。

田中ガバナーはじめ 役員の皆様、ご協力を頂いた各クラブの社会奉仕委員長の皆様、地区社会奉仕委員会委員の皆様、支えて頂いたガバナー事務局の皆様、関係各位に心から感謝を申し上げまして、報告と致します。

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 国際奉仕委員長
米山 孝之 (長岡 RC)



年度が始まるにあたり、1 海外のロータリアンやロータリークラブとの交流の促進、2 グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクトへの参加、3 ロータリー国際大会への参加という 3 つの基本方針を立て、各クラブの国際奉仕委員長の皆様へお伝えいたしました。

そして、平成 28 年 8 月 27 日に、ANA クラウンプラザホテル新潟において、国際奉仕委員会と青少年交換委員会の共催で、RI 第 2560 地区 2016 - 2017 年度国際奉仕フォーラムを実施いたしました。上記国際奉仕フォーラムには、ガバナー、ガバナーエレクト、パストガバナーをはじめ、各クラブの委員長、交換学生、ホストファミリーなど総勢 85 名の方々がご参加くださいました。上記国際奉仕フォーラムでは、グローバル補助金の要件と効果についてご説明させていただきました。また、同時に、青少年交換委員会が主催する夏期・1 年帰国受入学生報告会も開催いたしましたことから、交換学生達の生の声を多くのロータリアンに聞いてもらう機会を持つことができました。

さらに、平成 29 年 6 月 10 日から 14 日までジョージア州アトランタで開催されたロータリー国際大会へ参加いたしました。

地区の委員会に所属するのが初めてであり、また、国際大会へ参加するのも初めてという初めてのことばかりの 1 年間でした。至らぬ点が多々あったかとは存じますが、沢山の貴重な経験をする機会を与えてくださったことに感謝いたしております。1 年間、ありがとうございました。



田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 青少年奉仕委員長
高橋 正明 (新発田中央 RC)



2560 地区青少年奉仕委員長として、この1年間の各小委員長、そして委員の皆様の奮闘・努力に深く感謝申し上げます。

そして、地区大委員長としての責務をどれだけ果たすことが出来たかどうか？未だ自問自答しているところです。

しかし、今年度はインターアクト年次大会を前年度のうちにすすめた、清水委員長を先頭にしたインターアクト委員会と、高田東ロータリークラブ、そして多数の参加者があった、インターアクト年次大会、さらに4月に満開の桜の高田城を観光することができたインターアクト台湾歓迎交流会。

吉井ロータリーアクト委員長指導のもと、少人数ロータリーアクトクラブながら立派に地区代表を務めた、三条ロータリーアクトクラブの川越代表をリーダーとした、若さと活力に満ちた 2560 地区ロータリーアクト活動、そして新井ロータリーアクトクラブの復活、ロータリーアクト活動のすばらしさをこれからもロータリアンに伝え続ける必要を感じました。

2日間に渡り、研修と交流と新潟ならではの文化体験を楽しむことができた、吉田委員長はじめ、新潟ロータリークラブ、そしてロータリーアクトと参加していただいた方々の熱気あふれるライラ研修、今思い起こすと「ロータリアンとしてしか味わえない貴重な体験」を私自身が青少年奉仕委員長としてさせていただいたことに深く感謝申し上げます。

次年度への引き継ぎとして、

- 1 インターアクト台湾研修・交流の改革として、次年度から 2560 地区で今までより少人数に絞り込んだ台湾高校生のホームステイを毎年受け入れるようにすること。
- 2 休会中のロータリーアクトクラブを再生復活させて、ロータリーアクトクラブの活動を増強すること。
- 3 地区委員の活動予算について、地区の支援を強化していただけるよう、交渉すること。

など、1年間を振り返り、まとめとしたところです。

最後に田中政春ガバナーの、ロータリアンとして、また人間としての素晴らしさに接することができ、これが地区ロータリー活動の「貴重な体験」だということを理解することができた、楽しい1年間でした。

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 インターアクト委員長
清水 信博 (高田東 RC)



青少年奉仕委員会での3年委員としての最後の年。委員長としての重責を感じる1年でありました。インターアクト委員会は、青少年奉仕委員会の中でも事業が多岐にわたり、忙しい委員会であると改めて実感しました。

年度が始まるや否や開催したインターアクト地区年次大会。後半には、台湾訪問と台湾学生受入れという一連の国際交流事業。その合間に、各インターアクトクラブでの献血奉仕活動への支援等、一年間休む暇なく動き続けたような思いです。それぞれの事業についての所感は、個々の報告書にて記載してありますのでここでは省略させていただきます。

この委員会活動での一番のポイントは、各団体との調整の難しさとその達成感にあります。我々ロータリークラブや地区役員が動くだけなら簡単ですが、主人公であるインターアクターが積極的に動いてくれないと前に進んでいきません。

同時にいろいろな団体が絡んでいるため、意見のぶつかり合いは日常茶飯事でした。地区の考えを中心に、スポンサークラブの想いが重なり、ホスト校の進め方やインターアクトクラブ顧問教諭の考えがロータリーとぶつかり、そこに群馬(2840地区)の考え方が入ってくる。

それらを調整し、ある時は一方を説得し、ある時は相手方に諦めてもらう。事業を進めていくのがこれ程難しいと思ったことはありません。

ですから成功した時の喜びも格別です。私自身不覚にも事業終了時、号泣してしまい醜態を見せましたが、それほどうれしかったのは言うまでもありません。

地区役員を経験させて頂いたこの1年、自分自身が一番成長させて頂きましたことは間違いの無い事です。田中ガバナーのご指導のもと地区役員の方々の皆さまのご協力や我が高田東クラブをはじめ各クラブのご支援。そして、各インターアクトクラブの皆様に感謝申し上げ、この1年を振り返りたいと思います。

ありがとうございました。



田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 ローターアクト委員長
吉井 直樹 (三条 RC)



ローターアクトメンバー、とりわけ若いメンバーの成長に驚かされた1年でした。

2016-2017年度のローターアクトの活動も無事全事業を終了でき、また次年度への移行もスムーズに行えた事は1年間アクト委員長としての任を果たせたのではないかと思います。

普段、クラブを通しての奉仕活動のほか、地区でのお役目を頂き、貴重な経験をさせていただけた事は今後のロータリーメンバーとしての糧となると思います。

様々な事がありましたが、2016-17年を振り返り一つの反省と、一つの思い出を報告いたします。

反省はクラブの周年事業と重なったためローターアクト全国研修会に参加できなかったことです。今年は初めてグアムでの開催でしたので、内容を含め、参加し、経験しておきたかったです。勿論、アクトからは詳細な報告を受けていますが、実際に参加したかったです。

思い出としてはゾーン会議に参加し、有意義なアクトの会議、ホストロータリークラブの幌南クラブの皆様と厚い友好を深められたことであります。

1年間皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 ライラ委員長
吉田 和弘 (新潟 RC)



田中年度において、2016年の10月22日・23日の両日に行われた、ライラ研修の準備・運営を担当いたしました。青少年奉仕委員の高橋正明委員長にご指導いただきながら、主管クラブである新潟RCのロータリアンはじめ、2560地区のRC、RACなど大勢のみなさんと関わりながら、1年がかりで企画と準備を行い、ライラ研修の大きな目標である「リーダーシップを涵養する」というテーマにふさわしい、内容の濃い研修ができたのではないかと思います。

そして、田中政春ガバナーの何とも温かい、ちょっとトボけた挨拶やお話がとても好きでした。田中年度の元、みなさんと素晴らしい経験を共有できたことを感謝いたします。

一年を振り返って

2016 - 17 年度 青少年交換委員長
本間 啓介 (村上 RC)



私が青少年交換委員長に任命されて早いもので一年がすぎました。公私ともに非常に忙しい一年間でした。委員長となって最初の仕事が短期青少年交換学生の来日からでした。例年通りキャンプや東京研修旅行を実施しましたが時代とともに学生の考え方も違って来ていることに気がつきました。

例えば、毎年、東京ディズニーランドに連れて行っているのが例年通りに行いましたが、学生からは渋谷のスクラブル交差点を見学したいなどの要望が出まして急遽渋谷に移動しました。今では、インターネットの普及により世界中どこからでも日本の情報を得ることが出来、学生達も渋谷のことや浅草寺のことも知っていました。今後、来日する学生は日本のことや風習、習慣を勉強してもっと深く異文化を吸収して帰国することになるでしょう。私達の委員会も日本の何を伝えるべきかを考える必要があると思いました。

長期青少年交換では小さな事件がありました。受入学生が学校の部活においてケガをしました。このことにより、保険の手配や日本の保険の優秀さ親切さがよくわかりました。もし、派遣国（アメリカ）の保険ですともう少し面倒なことになったと思います。NPO 法人日本青少年交換委員会（以下 RIJYEC という）の旅行保険のおかげでスムーズな手続きを完了することができました。

あと、糸魚川の大火では学生が糸魚川に滞在しておりましたがこれも RIJYEC の学生支援システムで受入中のホストファミリーをすぐに調べて電話をして無事を確認することができました。RIJYEC の考えていることは一歩先を考えているということを実感いたしました。

田中ガバナーはこの年度で地区事務所の固定化を実現していただきました。これにより当委員会も利便性が非常に上がります。田中ガバナーからはこの年度いろいろな面で応援いただきました。特に、ドイツ担当委員長からの要望で受入学生が増えたことに関しましては大きな条件もなく受入に関しまして了解をいただきました。本当にありがとうございました。来日する学生は感謝して毎日のようにメールを送ってきます。本当にうれしかったようです。

2560 地区の会員のみなさんからの支えで、日本に来日できている事、また、諸外国に行くことが出来ていることを感謝するようことあるごとにお話しさせていただいております。

私の任期はもう一年ありますが、田中年度では多くの皆様に応援をいただきましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 ロータリー財団委員長
佐々木 昌敏 (小千谷 RC)



当委員会は意欲と能力に溢れたメンバーによって構成されており、活発な議論と周到な準備のうちにすすめられ、地区の代表的な委員会であります。

振り返ってみますと、

1. R 財団の研修

委員会の守備範囲は広く、奥行きも深いので、

- (1) 委員会メンバーの研鑽として、ほぼ毎月、財団ミーティングを開催して地区財団セミナーの準備をする。
- (2) 各クラブの理解を得るため、クラブの要請に応じて、卓話に出向く。
- (3) メンバー相互間の親睦を図るため、ゴルフ会、旅行を実施する。

などを実行して、研修成果を挙げようと努めた。

2. 地区補助金の活用

地区全クラブから、地区補助金を使った奉仕プロジェクトに参加してもらいたいと願ったが、10クラブの参加にとどまった。なるべく多くのクラブに活用してもらおうよう努力して参りたい。なお、地区補助金を使って、地区奨学生2人をオーストラリア、ドイツに派遣し、次年度派遣2人を決定した。

3. グローバル補助金の活用

グローバル補助金の活用をお願いしたいと思います。幸い次年度に4、5のクラブが活用したいと手を上げて頂いております。グローバル奨学生もあわせて期待したいと思います。

4. 財団への寄付

年次基金の寄付ゼロクラブはゼロとなりました。全クラブのご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。しかし、ポリオプラス寄付にいくつかのクラブが0寄付がございました。次年度は十分にご理解していただき0寄付クラブが無いようご協力をお願いしたいと思います。

5. R カードの加入促進

カードの利用方法、手続きに浸透を徹底できなかったのが、次年度の成果に期待することになりました。

田中年度を振り返って

2016 - 17 年度 米山記念奨学委員長
田中 雅史 (新潟南 RC)



まずもって田中ガバナーに感謝申し上げます。一人当たり平均寄付額目標 2 万円をはじめ、当委員会が活動方針としてお示しした事項をすべて笑顔でお認め下さり、自ら先頭に立ってこれを推進して下さいました。どれ程心強く有り難かったことか！

また、佐藤担当副幹事をはじめとする長岡西 RC の皆様に感謝申し上げます。当委員会がスムーズに事業を遂行できるようしっかりと支えて下さいました。まさに縁の下の力持ちでした。

田中ガバナー事務所の皆さん、そして米山担当事務局の大城さんには本当にお世話になりました。当委員会事業は、県内各大学や奨学会本部、または奨学生 OB の学友会と密なる連携が不可欠です。事務局の皆さんには、そのパイプ役を確実に果たしていただきました。

最後に丹治副委員長をはじめとする 15 名の委員会メンバーに感謝申し上げます。あなた方は最強のロータリアンであり米山戦士です。そんな皆様に囲まれて日々活動できたことを誇りつつ活動報告とさせていただきます。

一年間本当にありがとうございました！



田中年度を振り返って

2016 - 17 年度

ロータリー地域協働ネットワークセンター長
鈴木 重壺（長岡 RC）



地区内にセンターが設置されて5年を迎え、協働諸団体との絆も一層深まってまいりました。一重に会員諸氏のご理解とご協力の賜物と感謝いたします。

近年俄かに増発する自然災害のみならず、日常様々な危険にさらされていることから、ますますセンターとしての機能進化を念頭に、より強化を進めた1年でした。

恒例の年度当初の「ロータリー防減災セミナー」も、7月23日「ロータリー地域協働ネットワークセンターの役割...地域と共に、備えよ常に」をテーマに、ながおか市民防災センターで開催されました。

当日は、田中ガバナーを始めガバナー補佐、各クラブ選出の連絡員そして、ネットワークセンター担当委員、外部の協力団体（協働諸団体）からも出席いただき、ロータリーが地域と共に歩を進める中でネットワークセンターの役割の認識と、いざという時に適切かつスムーズに動けることを確認した意義深いセミナーでした。



特に協働諸団体とは回を重ねるごとに平時の情報交換の在り方と緊急時の連携の取り方について、より一層具体的事例を交えての意見交換ができ、意思の疎通をますます深めることが出来ました。

陸上自衛隊高田駐屯地第2普通科連隊長からは災害時の支援の実態等をお話いただき、県警OBが中心となって活動されている被害者支援センターやボーイスカウト新潟県連盟、新潟いのちの電話、地区ロータリーアクト代表のみなさまからも日頃の活動報告とロータリーとの関わりについてのお話を頂き連携の大切さを共有することが出来ました。

また、(公社)中越防災推進機構地域防災力センターの河内センター長から「熊本地震支援体験から考えること」というテーマで、被災地支援の体験を通じて支援する側のネットワークの大切さを実体験を通して詳しくお話しいただきました。

いざという時の備えを怠ることなく、志を共有できる協働諸団体と共に、地域のために地域と一体となって即応出来る事がロータリーへの信頼につながり「ロータリーに参加したい」と云うエネルギーにつながることを期待し、1年の総括といたします。

国際ロータリー第 2560 地区「山の会・八石山登山の報告書」

2016 - 17 年度 「山の会」 幹事
鹿嶋 和子 (中条胎内 RC)

長岡地区には数々の名山がありますが、今年度は長岡市と柏崎市にまたがる八石山（はちこくさん）に登ってきました。八つのピークを持つから八石山と言われているそうですが、この度は、柏崎市南条の登山口から歩き出して、南条八石山頂での焼肉や豚汁を楽しみに、皆で和気あいあいと登ってきました。

5月27日・土曜日

午後5時に「山の会」の参加者は、広田鉱泉・奥の湯、湯元館に集合しました。

広田鉱泉は温泉質が滑らかで、体に優しいお湯でした。

懇親会では、一年ぶりの山の会での再会を喜び お互いの健康に気づかいながら大いに地酒を酌み交わしロータリー談義で盛り上がりました。これも、地区行事として「山の会」の活動に対して、温かい心で見守って頂き、ご理解とご支援を頂けるからと、感謝しております。また、長岡西 RC 様と柏崎 RC 様からも地元の清酒を提供して頂きました。両クラブの心配りに対して、御礼を申し上げます。ご当地のお酒を飲みながら、鯛茶漬など柏崎名物を堪能いたしました。



5月28日・日曜日



午前9時に八石山 南条登山口に着きましたら、大勢の方々が登山されていました。八石山の山開きの神事と重なりましたので、お神酒を頂いてからの登山と成りました。

山頂では、豚汁や焼肉・山菜などを食べながら、冷たいビールで乾杯しました。

この様に、今年度のロータリー「山の会・八石山登山」が安全に楽しく終える事が出来たのは、田中ガバナーをはじめ地区事務所の方々、ご参加頂きました会員のおかげと深く感謝申し上げます。

今年度の山の会は発足から 26 座目と成りました。発足当時から参加されている会員も 80 代を迎えられ、ますます健康で山登りを楽しんでおられます。

来年度は大丈夫かな？と思いつつも大丈夫でしょう！と励まし合って下山した今年度の「山の会・八石山登山」の報告を終わります。有難うございました。



アトランタ国際大会のご報告

2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春 (長岡西 RC)



「アトランタで一緒に祝おう」のアトランタ 2017 年度ロータリー国際大会へ参加してきました。第 2560 地区からは 42 名が登録しました。本隊 23 名は 6 月 10 日成田を出航し、予定通り 15 日の午後アトランタの国際大会から無事帰国しました。

その後も、事故等の報告を受けておりませんので、全員無事帰国されたものと理解しています。参加者の中に体調不良の方もおられましたが団体行動にご協力いただき有難うございました。

アトランタは広大な緑の平原の中に、ダウンタウンとミッドタウンの個性的な 2 つのビル群からなる、全米 8 番目の州人口 1,021 万のジョージア州の州都で 46 万人を擁する都市でした。南北戦争の南軍の拠点で歴史のある南部都市です。コカ・コーラとデルタ航空が 2 大産業で、現在もアメリカ南部の商業・経済の中心地としての役割を担っています。

6 月 11 日の日本人朝食会は 750 名の参加で、R 財団本部へ 1 万ドルを寄付、日本の R 財団小沢さんへ 7,000 ドルを寄付しました。その分、大変軽い朝食でした。アメリカの朝食会を体験できましたが、日本の政治家の朝食会を連想しました。



6 月 11 日午後 3 時 30 分からの本会議(2 回目)に全員参加してきました。会場の半分は空席でした。本会議は R 財団 100 周年を祝う特別な鐘の紹介から始まりました。

国際大会委員長並びに国際大会ホスト組織委員長の 2~3 分の挨拶ののち、国旗の入場で 30~40 分、JERM 会長の家族の紹介で 20~30 分、100 万ドルをポリオに寄付したご婦人の話が 20~30 分、2 人の歌手が一人 3 曲位で 30 分、ジャズバンドの演奏のみが 30 分くらい、州知事、市長各 3 分、スポンサーの対談 10 分位でした。

JERM 会長は例を挙げて 5 分位、「ロータリーが人類に奉仕する」から高い評価を受け、感謝されるのだと話されていました。

6 月 11 日に開催された国際ロータリー第 2560 地区の夕べの会は新潟 RC、新潟北 RC の合流組 5 名が加わり、ジャンボステーキと格闘しながら、盛大なパーティーを楽しみました。各自アメリカとロータリーについてそれぞれ感じ取られ、「友情と思い出をいつまでも」の有意義な国際大会参加になったことと思います。



第 2560 地区ローターアクト地区研修・協議会

2016 - 17 年度 ローターアクト副委員長
本間 長市（新潟南 RC）

ローターアクト地区研修・協議会が新潟市のメイワサンピアにて参加者 40 名で間開催されました。研修は 4 部構成で、6 月 10 日、11 日の 2 日間行われました。

研修 1 では各クラブの今年度会長さんから、クラブ運営で困った事をもとに、グループでディスカッションをした後、対応策を考え発表しました。次年度のクラブ運営に役立つと思われる発表が多かったと思います。

研修 2 では他クラブ行事考案合戦を行いました。自分のクラブの特徴や強みを、それぞれのクラブでまとめて発表しあい、その特徴をもとに他クラブの行事を考案します。他クラブの行事を考えると、今までのクラブ内での常識や考え方にとらわれない行事案が提案され、参考になったのではないかと思います。

研修 3 ではチーム対抗レクリエーションを行い、目隠しリレー、風船パタパタゲーム、ドッチビーを行い親睦を深めながら汗をかきました。

翌朝は社会奉仕として駐車場の草むしりを行いました。



研修 4 では 2560 地区が抱える 4 つの課題について意見交換し、どのような事をすれば課題を克服できるか考え、良い例と悪い例をロールプレイングで発表しあいました。

今回の研修で、次年度のクラブ運営が今までより、より良い運営が出来るものと確信しました。



6月開催青少年交換オリエンテーション

2016 - 17 年度 青少年交換委員長
本間 啓介 (村上 RC)

6月17日(土) ANA クラウンホテル新潟で6月開催青少年交換オリエンテーションが開催されました。当日は、新保ガバナーエレクトご来賓に加え関係者総勢29名のご参加をいただきました。

今回は第1部長期派遣及び受入学生ホスト関係者、第2部短期派遣、第3部送別、壮行会の3部形式で行いました。

第1部長期派遣オリエンテーションは、これまで、約半年間に渡って行われたオリエンテーションの総仕上げとなるもので、クラブ委員長、カウンセラーを交えて活発な意見交換が行われました。

第2部短期派遣オリエンテーションでは今年7月4日から8月23日の期間に行われる短期交換事業の説明を短期派遣学生、保護者、ホストファミリー、ホストクラブ関係者に行いました。最後となるプレゼンテーションの練習を行いました。

そして、全てのオリエンテーションに参加した派遣候補学生に対し、派遣学生決定通知書の授与が行われました。

第3部送別、壮行会では、受入学生に対し1年間の留学修了証書の授与を行いました。壮行会では、来賓の新保ガバナーエレクトから、帰国、出発する学生に対し、安全な旅とロータリーの目的である世界平和貢献への祈念のお言葉をいただきました。

今回のオリエンテーションで田中年度の活動は全て終了いたしました。ただ、次世代を担う青少年の成長を我々ロータリアン全体で見守っていくことに終わりではなく、今後も青少年と共に「超我の奉仕」の精神を学び続けたいと思う次第です。

最後に、この1年間、青少年交換事業にご支援とご協力をいただきました多くのロータリアンの皆様に感謝申し上げます。有難うございました。



学友会総会

2016 - 17 年度 ロータリー財団学友会委員長
高橋 秀樹 (新潟 RC)

さる6月18日(日)にホテルイタリア軒にて、2016-2017年度国際ロータリー2560地区ロータリー財団学友会総会が開催されました。学友13名が集まり、2017-18年度奨学生内定生も参加しましたが、ロータリアンは、田中ガバナーはじめ、新保ガバナーエレクト、佐々木財団委員長など総勢20名が出席しました。田中ガバナーから、財団奨学生の意義などについてお話を頂いてから、ガバナーエレクト、財団委員長からも御挨拶を頂き、会務の後に懇談会を兼ねた昼食会に移りましたが、学友13名それぞれが熱のこもったスピーチを行い、予定時間を大幅に過ぎての閉会となりました。学友の中には、現在の活躍だけでなく、20年前、30年前のお話をしてくださる方もいらっしゃり、本地区の奨学生制度の歴史の重みを感じられました。既に職場を定年し、第二の人生の中で国際親善活動を続けている方もおられ、ロータリー奨学生としての体験が人生に大きな影響をあたえるという素晴らしい実例もあります。さらに、出席できなかった30名の学友のかたからメッセージが届き、総会中に披露されました。そのうち6名は海外にお住まいの方からの近況報告で、学友がグローバルに活躍している状況が実感されました。それぞれのスピーチの合間に、ロータリアンと学友のフリーな懇談も進んだようです。閉会になってからもしばらく会場に残って話を続けておられるグループがあちこちに見られ、大変充実した会となりました。参加人数の増減はあるものの、会の熱気は年々高まっているように感じます。ぜひこの雰囲気地区のみなさま全体にお伝えしたいものだと年来考えてきましたが、今回は新しい試みとして、総会の様子をビデオ収録いたしました。地区の催事などで御覧いただくことができたらと思います。また、要請があれば、クラブの例会で御覧いただくこともできるかと思いません。今後とも学友会の活動へのご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。



「和気あいあい 40 年」 津南 RC 創立 40 周年記念式典

2016 - 17 年度 津南 RC 会長
島田 繁 (津南 RC)

津南 RC 創立 40 周年記念式典は、5 月 27 日新緑のニュー・グリーンピア津南を会場に開催いたしました。上村憲司津南町長、田中政春ガバナー、3 名のパストガバナー、第 2560 地区の多くの会員の皆様からご出席いただきました。また、第 2630 地区からは 30 年以上交流が続いている友好クラブの三重県 津南(つみなみ)RC から 13 名ものご出席をいただき、誠にありがたく感謝いたします。



式典では記念事業として、津南町とお隣の長野県栄村が整備を進め、2014 年に日本ジオパークとして認定された「苗場山麓ジオパーク」の案内看板を設置し町に寄贈させていただくことにし、上村町長に目録をお渡ししました。

チャーターメンバー 2 名の表彰の後、上村町長と田中ガバナーよりご祝辞をいただきました。町長自身 1977 年~1989 年ロータリアンとして「ロータリーの目的」と「四つのテスト」を学ばせていただき、今でも私の根本となっているとのお言葉をいただきました。

田中ガバナーからは、地域内人口が少なくても会員を維持、増強されているのは仲間意識が強く郷土愛に支えられているからと思います。このようなクラブの存在は、人口減少地域の似たようなクラブに光明を与えるものと思います。と述べられました。



祝賀パーティーでは植木パストガバナーと友好クラブ津南 RC 竹内会長よりご祝辞をいただき、スポンサークラブ十日町 RC 池田会長の乾杯のご発声で開宴。なつかしいベンチャーズメロディーの生演奏の中、賑やかに、そして和やかに地酒と山菜、高原野菜に舌鼓を打ちながら親睦を深めていただきました。

津南 RC は田舎の小さなクラブではありますが、50 周年に向けてこれからも和気あいあいと地域とともに歩んでいきたいと思っております。

ご出席いただきました皆様方に改めて心より感謝いたします。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新発田城南	廣瀬 昭	2017.06.29	廣瀬税理士事務所
新発田城南	木村 勘一	2017.06.29	木村農園
中 条	緒形 徳栄	2017.06.28	曳栄建設株式会社
新潟東	金子 誠	2017.06.02	(株)日新工業所
新潟東	松尾 知美	2017.06.02	natural grass 工房
雪国魚沼	貝瀬 英昭	2017.06.12	塩沢信用組合
高 田	嶺村 俊之	2017.06.28	当方区電力(株)上越営業所

2016-17 年度 地区目標

「基本を学び、地域と共に」



年度を終了するにあたり、今一度ロータリーとは何かをロータリアン一人ひとりに考えていただき、それをもとに活動していただければ 2560 地区は必ず大きく発展するとの思いから、各クラブに謹呈いたしました。

どうぞご活用ください！

糸魚川駅北大火義援金のご報告

本年度地区運営に際しましては、ひとかたならぬご高配、ご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。
12月22日に発生した糸魚川大火に伴う「義援金のお願い」を、26日付文書にて各クラブに、いたしておりました。

ガバナー年度6月30日までに地区の指定口座にお振込みいただきました義援金につきましては、下記によりご報告申し上げます。皆様のご厚志に心より御礼を申し上げます。

義援金 6,906,702円 (6月30日送金)

他地区や個人、友好クラブ、IACを含む

尚、義援金の呼びかけに先駆けて地区特別会計より2,000,000円を糸魚川RCと糸魚川中央RCへ直接手渡しました。また、他地区からも直接支援された旨報告を受けております。

地区大会記念ゴルフ大会でのチャリティーについてご報告

地区大会記念ゴルフ大会にご参加いただいた皆様より、「チャリティーワンオンチャレンジ」に挑戦していただきました。その収益金は、**社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会**に寄付をさせていただきました。



チャリティー寄付金 150,000円

(6月28日送金)

ローターリー財団・米山記念奨学会 寄付実績

分 区	ロータリー財団寄付						ロータリー米山記念奨学会寄付						
	クラブ名	会員数 (16/07/01)	年次基金一人 当り寄付額(円)	2016年7月1日～2017年6月30日(円)				会員数 (17/01/01)	一人当たり 寄付額	普通寄付金 単価(年額)	2016年7月1日～2017年6月30日(円)		
				年次基金総計	その他の基金	恒久基金	合計				普通寄付金	特別寄付金	合計
R 第 2 5 6 0 地 区	第1分区分	371	149.74	55,554.41	6,550.98	0.00	62,105.39	368	19,841	☆	2,132,500	5,326,500	7,459,000
	第2分区分	440	151.94	66,854.42	6,713.29	2,000.00	75,567.71	449	22,408	☆	1,796,000	7,197,920	8,993,920
	第3分区分	131	80.76	10,580.03	729.99	0.00	11,310.02	128	7,719	☆	518,000	785,466	1,303,466
	第4分区分	362	194.20	70,301.66	4,707.98	0.00	75,009.64	364	14,693	☆	1,420,500	5,054,000	6,474,500
	第5分区分	309	179.75	55,541.63	6,229.78	2,000.00	63,771.41	324	22,616	☆	1,274,000	6,225,000	7,499,000
	第6分区分	156	164.44	25,652.76	2,144.67	1,078.43	28,875.86	159	13,295	☆	783,080	1,596,000	2,379,080
	第7分区分	325	191.88	62,362.29	3,856.15	0.00	66,218.44	326	18,980	☆	1,747,000	4,231,500	5,978,500
	合計	2,094	165.64	346,847.20	30,932.84	5,078.43	382,858.47	2,118	17,838	☆	9,671,080	30,416,386	40,087,466
第 1 分 区	新発田	97	156.81	15,211.00	3,050.00	0.00	18,261.00	98	20,204	10,000	990,000	990,000	1,980,000
	村上	36	136.02	4,896.78	250.00	0.00	5,146.78	36	19,916	4,000	144,000	573,000	717,000
	水原	25	101.96	2,549.04	224.12	0.00	2,773.16	25	18,560	4,000	100,000	364,000	464,000
	中条	35	222.97	7,804.11	580.53	0.00	8,384.64	36	22,144	4,000	140,000	657,200	797,200
	新発田城南	40	175.93	7,037.00	585.00	0.00	7,622.00	38	31,118	5,000	194,000	988,500	1,182,500
	豊栄	27	77.03	2,079.86	189.00	0.00	2,268.86	27	14,481	4,000	108,000	283,000	391,000
	新発田中央	48	154.17	7,400.00	720.00	0.00	8,120.00	46	20,391	5,000	236,000	702,000	938,000
	中条胎内	33	158.08	5,216.52	517.77	0.00	5,734.29	33	17,084	4,000	132,000	431,800	563,800
	村上岩船	30	112.00	3,360.10	434.56	0.00	3,794.66	29	14,672	3,000	88,500	337,000	425,500
第 2 分 区	新潟	92	121.48	11,176.00	920.00	2,000.00	14,096.00	99	13,190	4,000	368,000	937,850	1,305,850
	新潟東	62	118.63	7,355.27	666.13	0.00	8,021.40	61	15,540	4,000	248,000	700,000	948,000
	新潟南	97	184.97	17,942.27	930.00	0.00	18,872.27	100	21,260	4,000	388,000	1,738,070	2,126,070
	佐渡	7	131.23	918.62	0.00	0.00	918.62	7	25,000	4,000	28,000	147,000	175,000
	新潟西	37	168.94	6,250.82	600.00	0.00	6,850.82	40	19,350	4,000	148,000	626,000	774,000
	佐渡南	42	153.38	6,441.99	630.00	0.00	7,071.99	42	17,809	4,000	168,000	580,000	748,000
	新潟北	42	101.51	4,263.45	245.10	0.00	4,508.55	41	24,951	4,000	168,000	855,000	1,023,000
	新潟中央	25	158.20	3,955.00	1,447.06	0.00	5,402.06	25	33,480	4,000	100,000	737,000	837,000
	新潟万代	36	237.53	8,551.00	1,275.00	0.00	9,826.00	34	31,088	5,000	180,000	877,000	1,057,000
第 3 分 区	新津	19	55.50	1,054.55	0.00	0.00	1,054.55	18	4,444	4,000	74,000	6,000	80,000
	村松	10	110.46	1,104.60	99.99	0.00	1,204.59	11	4,000	4,000	42,000	2,000	44,000
	五泉	18	27.78	500.00	0.00	0.00	500.00	18	4,555	4,000	72,000	10,000	82,000
	白根	42	111.24	4,672.00	630.00	0.00	5,302.00	42	16,619	4,000	168,000	530,000	698,000
	新津中央	31	75.77	2,348.88	0.00	0.00	2,348.88	28	12,695	4,000	118,000	237,466	355,466
	阿賀野川ライン	11	81.82	900.00	0.00	0.00	900.00	11	4,000	4,000	44,000	0	44,000
第 4 分 区	三条	55	460.91	25,349.86	825.00	0.00	26,174.86	54	24,870	4,000	218,000	1,125,000	1,343,000
	燕	33	82.18	2,712.01	330.00	0.00	3,042.01	33	10,818	4,000	132,000	225,000	357,000
	加茂	28	67.86	1,900.00	271.56	0.00	2,171.56	28	12,214	4,000	112,000	230,000	342,000
	三条南	51	98.04	5,000.00	765.00	0.00	5,765.00	48	21,770	4,000	198,000	847,000	1,045,000
	分水	32	112.50	3,600.00	155.16	0.00	3,755.16	33	16,969	4,000	130,000	430,000	560,000
	見附	20	123.50	2,470.00	190.00	0.00	2,660.00	19	5,500	5,500	104,500	0	104,500
	吉田	32	108.44	3,470.00	480.00	0.00	3,950.00	34	12,647	4,000	132,000	298,000	430,000
	三条北	65	309.91	20,144.10	975.00	0.00	21,119.10	65	25,046	4,000	260,000	1,368,000	1,628,000
	巻	9	108.08	972.73	181.82	0.00	1,154.55	12	8,750	500	5,000	100,000	105,000
第 5 分 区	田上あじさい	6	45.45	272.71	0.00	0.00	272.71	7	6,428	1,000	5,000	40,000	45,000
	三条東	31	142.27	4,410.25	534.44	0.00	4,944.69	31	16,612	4,000	124,000	391,000	515,000
	長岡	40	188.05	7,521.81	645.00	0.00	8,166.81	44	19,454	4,000	168,000	688,000	856,000
	柏崎	42	107.05	4,496.18	705.00	0.00	5,201.18	47	12,404	4,000	178,000	405,000	583,000
	長岡東	65	157.89	10,262.65	1,116.42	1,000.00	12,379.07	69	22,000	4,000	276,000	1,242,000	1,518,000
	柏崎東	53	201.89	10,700.00	825.00	0.00	11,525.00	55	26,290	4,000	216,000	1,230,000	1,446,000
	栃尾	21	145.71	3,060.00	405.00	0.00	3,465.00	21	24,000	4,000	84,000	420,000	504,000
	長岡西	52	306.64	15,945.35	2,008.36	1,000.00	18,953.71	53	38,679	4,000	210,000	1,840,000	2,050,000
	柏崎中央	36	98.77	3,555.64	525.00	0.00	4,080.64	35	15,485	4,000	142,000	400,000	542,000
第 6 分 区	十日町	34	219.14	7,450.83	583.45	0.00	8,034.28	35	18,857	5,000	170,000	490,000	660,000
	小千谷	40	267.87	10,714.79	600.00	1,078.43	12,393.22	40	19,250	6,000	240,000	530,000	770,000
	雪国魚沼	24	104.17	2,500.00	250.00	0.00	2,750.00	25	10,800	5,000	135,000	135,000	270,000
	十日町北	23	91.08	2,094.89	284.46	0.00	2,379.35	24	18,041	4,000	92,000	341,000	433,000
	津南	27	62.68	1,692.25	411.76	0.00	2,104.01	27	7,703	4,000	108,000	100,000	208,000
	越後魚沼	8	150.00	1,200.00	15.00	0.00	1,215.00	8	4,760	4,760	38,080	0	38,080
第 7 分 区	高田	61	319.49	19,488.78	900.24	0.00	20,389.02	64	20,093	4,000	250,000	1,036,000	1,286,000
	直江津	51	168.83	8,610.35	750.00	0.00	9,360.35	50	20,560	10,000	505,000	523,000	1,028,000
	新井	32	298.13	9,540.00	450.00	0.00	9,990.00	32	18,812	4,000	128,000	474,000	602,000
	糸魚川	42	122.01	5,124.21	390.91	0.00	5,515.12	43	15,360	4,000	170,000	490,500	660,500
	高田東	40	165.91	6,636.28	600.00	0.00	7,236.28	40	22,950	4,000	160,000	758,000	918,000
	糸魚川中央	36	250.00	9,000.00	540.00	0.00	9,540.00	33	21,818	8,000	276,000	444,000	720,000
	頸北	15	150.00	2,250.00	225.00	0.00	2,475.00	15	24,000	4,000	60,000	300,000	360,000
越後春日山	48	35.68	1,712.67	0.00	0.00	1,712.67	49	8,244	4,000	198,000	206,000	404,000	
D2560								0	0	0	0	0	
合計		2,094		346,847.20	30,932.84	5,078.43	382,858.47	2,118	18,927		9,671,080	30,416,386	40,087,466

第2560地区 2016-17年度 6月末 会員数および出席報告

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現 在	6月 末 会 員 数	うち 女 性	増 減
第1分区(9クラブ)	／	89.22	371	364	35	-7
新発田	4	94.86	97	93	0	-4
村上	4	82.89	36	37	9	1
水原	4	81.91	25	27	0	2
中条	4	92.65	35	34	3	-1
新発田城南	5	86.39	40	41	4	1
豊栄	4	100.00	27	26	3	-1
新発田中央	4	91.00	48	45	4	-3
中条胎内	4	89.40	33	33	6	0
村上岩船	4	83.90	30	28	6	-2
第2分区(9クラブ)	／	86.38	440	441	20	1
新潟	4	87.82	92	86	0	-6
新潟東	5	89.33	62	62	8	0
新潟南	4	84.29	97	99	2	2
佐渡	5	82.90	7	7	0	0
新潟西	5	81.14	37	41	1	4
佐渡南	4	88.13	42	41	4	-1
新潟北	3	79.85	42	43	0	1
新潟中央	4	90.00	25	24	0	-1
新潟万代	4	93.92	36	38	5	2
第3分区(6クラブ)	／	75.10	131	122	7	-9
新津	4	70.84	19	18	0	-1
村松	4	95.45	10	11	0	1
五泉	4	78.12	18	17	3	-1
白根	5	77.36	42	37	2	-5
新津中央	4	78.85	31	29	1	-2
阿賀野川ライン	4	50.00	11	10	1	-1
第4分区(11クラブ)	／	82.70	362	371	22	9
三条	4	86.87	55	59	0	4
燕	4	70.96	33	33	1	0
加茂	4	89.65	28	29	4	1
三条南	3	94.11	51	48	2	-3
分水	4	100.00	32	32	3	0
見附	4	74.00	20	20	1	0
吉田	5	76.36	32	33	2	1
三条北	4	82.95	65	66	3	1
巻	4	80.90	9	13	0	4
田上あじさい	4	71.40	6	7	1	1
三条東	4	82.50	31	31	5	0

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現 在	6月 末 会 員 数	うち 女 性	増 減
第5分区(7クラブ)	／	85.34	313	319	22	6
長岡	3	86.28	40	44	1	4
柏崎	4	82.60	42	45	0	3
長岡東	3	89.25	69	66	4	-3
柏崎東	4	89.22	53	50	4	-3
栃尾	4	80.00	21	21	0	0
長岡西	5	88.06	52	57	5	5
柏崎中央	4	81.97	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	／	86.18	156	155	11	-1
十日町	4	97.87	34	34	3	0
小千谷	5	85.92	40	39	5	-1
雪国魚沼	3	70.80	24	25	2	1
十日町北	4	92.86	23	23	0	0
津南	4	94.64	27	27	1	0
越後魚沼	4	75.00	8	7	0	-1
第7分区(8クラブ)	／	83.11	324	316	27	-8
高田	5	97.76	61	66	0	5
直江津	4	89.09	51	47	3	-4
新井	4	72.82	32	29	3	-3
糸魚川	5	62.92	42	41	3	-1
高田東	4	85.90	40	39	3	-1
糸魚川中央	5	80.61	36	31	0	-5
頸北	3	97.40	15	14	1	-1
越後春日山	5	78.40	47	49	14	2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
6月末 会員数	2,088	人
女性会員数	144	人
純増減会員数	(9)	人
当月平均出席率	84.29	%